

第16期事業報告

自 平成30年4月 1日

至 平成31年3月31日

東郷町施設サービス株式会社

東郷町施設サービス株式会社

第16期（平成30年4月1日～平成31年3月31日）の営業の概況について

1 経営方針

「 信 頼 ・ 周 知 徹 底 」
 ”明るく、楽しく、元気よく”
 … お客様にありがとうと言ってもらえる店・信頼される施設・教室づくり …

第16期(30年度) 経営目標

管理項目	目 標 値	実 績	達成率(%)
1、総売上 (単位:千円)	654,000	598,969	91.6
施設運営事業部	214,500	214,100	99.8
設備管理事業部	59,500	59,128	99.4
健康事業部	195,000	186,020	95.4
販売事業部	185,000	139,721	75.5
2、トレーニング利用人数(単位:人)	105,000	106,420	101.4

2 経営実績

(1) 施設管理事業（指定管理等）

① 施設別利用人数内訳

施 設	利用人数 (単位:千人)			主な内容
	H30 年度	H29 年度	伸長率 (%)	
町民会館	75.7	77.2	98	減: ホール催事回数の減
総合体育館	116.8	115.7	101	増:各サークルの人数増及び催事の開催
町体育施設 親水含む	57.0	51.6	110	増:天候による
いこまい館	188.0	183.4	102	増:多目的室が増えたことにより利用幅が増えた
内 トレジム 及び水中	106.4	102.1	104	キャンペーン実施が影響
合 計	437.5	427.9	102	

② 施設別利用収入内訳（利用実績に基づく）

施設	施設利用収入（税込・単位：千円）			主な内容
	H30年度	H29年度	伸長率 （%）	
町民会館	8,290	8,595	96.4	減：ホール利用減のため
総合体育館	10,165	9,483	107.1	増：催事開催増のため
町体育施設 親水含む	3,849	4,323	89.0	減：参加人数減少のため
いこまい館	46,484	44,689	104.0	増：トレジム増による
内トレジム	35,198	29,521	119.2	
合計	68,788	67,090	102.5	

③ 施設別管理収入内訳

施設	施設管理収入（税込・単位：千円）		
	H30年度	H29年度	伸長率 （%）
町民会館	70,869	65,347	108
総合体育館	26,712	29,571	90
町体育施設	14,384	10,995	130
榊池親水公園	2,344	2,160	108
いこまい館	85,895	87,325	98
ふれあい広場	3,300	0	—
役場庁舎	30,342	29,455	103
学校開放	2,388	2,388	100
合計	236,234	227,241	103

(2) 事業部別収入内訳

内容	運営事業部別収入 （税抜・単位：千円）			主な内容
	H30年度	H29年度	伸長率 （%）	
施設運営事業部	214,100	195,318	109.61%	指定管理業務等
設備管理事業部	59,128	54,179	109.13%	設備管理事業
健康事業部	186,020	201,894	92.14%	健康づくり事業
販売事業部	139,721	102,502	136.31%	健康機器等販売保守事業
合計	598,969	553,893	108.12%	

3 基本方針

(1) 事業展開

東郷町施設サービス株式会社は、行政と協働で、下記6項目を基本方針と定め、事業活動を推進しました。

- ① 自主事業の維持、拡大
- ② 改善活動
- ③ 町民主役イベント事業の推進
- ④ 施設の最適な維持管理
- ⑤ 町民の施設利用度アップに向け、的確なサービス品質の提供
- ⑥ 人材育成

(2) 経営理念

「信頼は豊かな人生」を念頭に下記5項目を実践した。

- ① 株主（町長・議会・町民）に対しては
東郷町の「公共施設の指定管理業者としてより質の高いサービスの提供と低コスト、高効率を重視した経営の実践。
具体的にはT I S業務改善
- ② 利用客（お客様）に対しては
約束事を守り満足度を向上しリピートを願う取り組み、子どもから高齢者に至るまでの「健康づくり 体力づくり 介護予防」を視野に東郷町施設サービス株式会社を発信基地として、又、今後のさらなる集客を願った東郷町全体の元気で健康な町づくりの推進を目指しました。
- ③ 地域に対しては
積極的に地域に貢献する。
- ④ 社内では
個人、課及びチーム単位での相互信頼で目標を達すること。
上記項目を今後も継続向上させること。
- ⑤ 家族では
明るく楽しく元気よく出勤できる環境をつくる。

(3) プライバシーポリシーについて

個人情報を適正に保護することの重要性を認識し、以下の方針に基づき個人情報の保護に努めた。

- ① 法令の遵守
個人情報の取扱いにおいて、個人情報の保護に適用される法令の遵守。
- ② 個人情報の取得
適正かつ公正な手段により適切な範囲での個人情報の取得。
- ③ 個人情報の利用

個人情報の利用目的をできる限り明確化し、業務の遂行上必要な限度内での個人情報の利用。

④ 個人情報の安全・適正な管理

個人情報のデータベース等の個人データについて特に慎重に取り扱い、安全管理のために社員や委託先を適切に監督するなど、必要かつ適切な措置を行う。また、個人情報のデータベース等の個人データを正確かつ最新の内容に保つよう最善の努力をする。

⑤ 個人情報の第三者提供

原則として以下に定める場合を除くほか、正当な理由なく個人情報を第三者に開示・提供しない。

- ・ご本人の同意がある場合
- ・個人情報保護法その他法令に定めのある場合

⑥ 個人情報の開示・訂正・利用停止・削除

ご本人から自身の個人情報について、開示・訂正・利用停止・削除を申し出られた場合は速やかに対応する。(開示を行う場合は、別途定める金額を申し受ける。)なお、ご本人から個人情報の取扱いについてご意見・ご質問をいただいたときは、適切かつ迅速に対応する。

⑦ 社員教育の徹底

全ての社員に対し、個人情報の保護及び適正な管理についての研修を実施し、日常業務における個人情報の適正な取り扱いを徹底。

⑧ 個人情報保護方針の維持及び個人情報の取扱いの継続的な改善

上記の方針を実行するため、個人情報保護方針を社員及びその他関係者に周知徹底させ維持し、個人情報の取扱いについて継続的な改善に取り組む。

4 次期の見通し

(1) 施設管理事業

平成31年度は、令和2年度にセントラル開発内に商業施設がオープンすることから人材不足やパート賃金の時給アップが想定される。それに伴いより良い人材の確保のため、賃金の見直しをする必要が考えられる。パート賃金が時給1200円程度まで上昇する可能性があると考えられるが、現在の時給900円を少なく見て時給1100円で試算すると約1400万円が必要となる。そのための準備を進めていく必要がある。また、商業施設オープンに向けて町民会館等利用者以外の駐車場使用対策を検討する。

① 施設運営事業部

- ・町民会館は、昨年に引き続きホール利用率の拡大(特に土、日、祝の利用を埋める策を考え実践に移す。)及び、文化系自主事業を充実させ文化促進を図る。
- ・総合体育館は、スポーツサークルの支援活動(サークル会員の減少により活動を停止または施設利用縮小を迫られる団体への招致支援活動を行う)

及び、火曜日夜間利用の確立、そして利用区分の変更を提案してより多くの方

に利用いただける仕組みを進める。

- ・いこまい館は、シニアハウスの方に他の施設も気持ちよく使っていただける利用方法を検討する。(利用者との情報交換を行い有効な利用方法の提案)
- ・町催事に対する設営事業の協力と提案

② 設備管理事業部

- ・老朽化した施設の改修計画に対する協力と提案
- ・東郷町公園管理に向けた業務委託の請負とノウハウの構築
- ・LED化の推進提案

(2) 健康事業部

今年度の人材育成による人材を活用し、事業拡大を行う
具体的な事業展開

- ・町内事業の強化及び大治町、碧南市、長久手市事業の推進
- ・COI 及び経産省など国の事業の推進と健康づくり先進事例としての発信
- ・学校教育等への健康増進事業

(3) 販売事業部

今年度においての人材育成及び営業及びメンテナンス力を生かした事業展開を行っていく。今までの営業活動から多くの自治体や学校機関との結びつきができた。平成31年度においては確実に利益を出し会社を支える基盤を作り、町内外の施設に対して質の高い提案をしていく。また、健康事業部とさらなる連携をして外部機関(大学、企業)との連携でモノづくりにも力を入れ、将来の売上の核になる商品づくりにも取り組んでいく。

5 会社の概要(平成31年4月1日現在)

(1) 設立

東郷町の100%出資会社として、平成16年2月に設立

(2) 総員

正社員40名 契約社員9名 パート・アルバイト109名 合計159名

参考:男女比 男49名 女110名 東郷町在住者83名(52.2%)

(3) 主要な事業概要

施設管理事業

東郷町公共施設の指定管理者、東郷町民会館(図書館含む)、東郷町総合体育館
イーストプラザいこまい館、町体育施設、榊池親水公園(テニスコート)、ふれあい
広場、つどいの広場業務、ふれあい楽校、こども分校、東郷町施設管理委託業務
東郷町役場庁舎管理業務、東郷町学校施設開放業務

健康事業

健康づくり・体力づくり・介護予防、わくわく体操塾(体操、水中、スポーツ)
町外、県外事業(名古屋市、大治町、長久手市、碧南市、浜松市、磐田市等)
子育てサポート・障がい児タイムケア

販売事業

レーニング機器等販売・製造、メンテナンス

(4) 主要な営業所

本 社 愛知県愛知郡東郷町大字春木字山崎 887 番地 5

その他 愛知県愛知郡東郷町大字春木字北反田 3 5 番地

(5) 株式の状況

- | | |
|----------------|----------|
| ① 会社が発行する株式の総数 | 800株 |
| ② 発行済株式の総数 | 200株 |
| ③ 当期末株主数 | 1名 (東郷町) |

令和元年7月

代表取締役社長

小野田 実

貸 借 対 照 表

平成31年3月31日現在

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	145,097	【流動負債】	95,361
現金・預金	81,573	買掛金	9,848
売掛金	51,009	リース債務	948
商材	3,860	未払金	11,502
原材料	1,497	未払費用	19,196
貯蔵品	5,040	未払法人税等	106
前払費用	1,148	未払消費税等	8,271
未収入金	86	前受金	64
立替金	131	預り金	28,066
仮払金	17	賞与引当金	16,658
未収法人税等	732	ポイント引当金	699
【固定資産】	43,366	【固定負債】	5,160
(有形固定資産)	31,408	リース債務	564
建物	13,818	役員退職慰労引当金	4,596
機械装置	2,519		
車両運搬具	6,619	負債合計	100,522
工具器具備品	6,980	純資産の部	
リース資産	1,340	【株主資本】	87,941
建設仮勘定	130	(資本金)	10,000
(無形固定資産)	1,823	(利益剰余金)	77,941
ソフトウェア	1,823	利益準備金	151
(投資その他の資産)	10,134	その他利益剰余金	77,790
出資金	20	繰越利益剰余金	77,790
保証金	988		
リサイクル預託金	157	純資産合計	87,941
長期前払費用	6		
繰延税金資産	8,963	負債・純資産合計	188,464
資産合計	188,464		

損 益 計 算 書

自 平成30年4月 1 日
至 平成31年3月31日

(単位:千円)

科 目	金 額	
【 売 上 高 】		598,969
【 売 上 原 価 】		542,520
売上総利益		56,448
【 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 】		62,709
営業損失		6,260
【 営 業 外 収 益 】		
受 取 利 息	0	
雑 収 入	127	128
【 営 業 外 費 用 】		
支 払 利 息	134	
雑 損 失	71	205
経 常 損 失		6,337
【 特 別 利 益 】		
固 定 資 産 売 却 益	0	0
税引前当期純損失		6,337
法人税、住民税及び事業税		212
法人税等調整額		△ 1,893
当 期 純 損 失		4,655

株主資本等変動計算書

(自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				株主資本 合計
	資本金	利益剰余金			
		利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計	
平成30年4月1日残高	10,000	151	82,446	82,597	92,597
当期変動額					
当期純損失			△4,655	△4,655	△4,655
当期変動額合計	-	-	△4,655	△4,655	△4,655
平成31年3月31日残高	10,000	151	77,790	77,941	87,941

	純資産 合計
平成30年4月1日残高	92,597
当期変動額	
当期純損失	△4,655
当期変動額合計	△4,655
平成31年3月31日残高	87,941

注 記

1 この計算書類は、中小企業の会計に関する指針によって作成している。

2 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商 品 …… 総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法)

原材料 …… 総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法)

貯 蔵 品 …… 最終仕入原価法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法)

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産(リース資産を除く) …… 定率法(但し、平成10年4月以降に取得した建物(建物附属設備を除く)及び平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備並びに構築物については定額法)主な耐用年数は、以下のとおりである。
建物 17年～47年

無形固定資産(リース資産を除く) …… 定額法
自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づいている。

リース資産 …… 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産については、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとして算定する方法によっている。

(3) 引当金の計上基準

賞与引当金 …… 従業員の賞与の支給に備えるため、当事業年度に負担すべき支給見込額を計上している。

ポイント引当金 …… 来期以降のポイントの使用に備えるため、将来使用されると見込まれる額を計上している。

役員退職慰労引当金 …… 役員の退職慰労金の支給に備えるため、役員規定に基づく期末要支給額を計上している。

(4) その他計算書類作成のための基本となる重要事項

① リース取引の処理方法

リースにより使用している固定資産のうち、金額に重要性のないものについては賃貸借処理をしている。
なお、当該リースに係る未経過リース料総額は1,604,944円である。

② 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっている。

3 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額 84,739,200円

(2) 東郷町に対する金銭債権及び金銭債務

短期金銭債権 23,996,812円

短期金銭債務 26,862,250円

4 損益計算書に関する注記

東郷町との取引高

売 上 高 259,788,432 円

仕 入 高 539,552 円

5 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末の発行済株式の数

普 通 株 式 200 株

6 税効果会計に関する注記

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産	
賞与引当金	5,595,456 円
未払社会保険料	781,751 円
役員退職慰労金	1,543,963 円
減価償却超過額	240,015 円
繰越欠損金	2,127,576 円
その他	316,137 円
小計	10,604,898 円
評価性引当額	△ 1,568,417 円
繰延税金資産合計	9,036,481 円
繰延税金負債	
未収事業税	△ 73,226 円
繰延税金負債合計	△ 73,226 円
繰延税金資産の純額	8,963,255 円

7 関連当事者との取引に関する注記

種類	会社等の名称	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(注)4	科目	期末残高(注)4
主要株主	東郷町	直接100%	施設管理の受託	施設管理の受託(注)1	218,735,911円	売掛金	1,194,000円
				植栽維持管理業務(注)1	19,243,710円	売掛金	14,857,840円
				介護予防業務(注)1	4,457,129円	売掛金	781,974円
				託児業務(注)1	8,443,350円	売掛金	672,500円
				水道光熱費等の預り(注)2,3	105,109,259円	預り金	26,862,250円

取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注)1. 金額の重要性が高いもののみ、記載している。
(注)2. 価格その他の取引条件は、市場実勢を参考に当社が希望価格を提示し、価格交渉の上で決定している。
(注)3. 水道光熱費等の預りは、市場の実勢価格等を参考にして、毎年度東郷町において決定している。
(注)4. 取引金額には消費税等を含めていない。期末残高には消費税等を含めている。

8 1株当たり情報に関する注記

- (1) 1株当たり純資産額 439,707 円 72 銭
(2) 1株当たり当期純損失 23,278 円 28 銭

9 重要な後発事象に関する注記

該当事項はない。